



EAnetwork



No. 27 2006年10月-1

ディープインパクトは3着、シューマッハーは残り2戦で総合首位に躍り出て、日本女子レスリングは全階級でメダル獲得(そのうち5個は金メダル!)宮里藍は女子オープン3位、白鵬は綱取りを逃し、バリーグはプレーオフを控え、中日はM5。スポーツの秋真っ盛りですね。ということで、今回のコラムは高校野球です。

☆アスベスト対策環境展'06に出展致します☆

アースアプレイザルは、2006年10月24日~26日に東京ビックサイトにて開催されるアスベスト対策環境展(危機管理産業展2006の特別併催企画展)に出展致します。(ブース:西2ホール 小間番号3D-14)日本初の石綿処理・環境対策に関する専門展示会です。また、10月25日15:30~16:30には弊社取締役亀元宏宣が出展者プレゼンテーション「合理的な米国のアスベスト分析ー日本と米国のアスベスト分析ー」を行います。ご来場をご希望の方は、ご招待状をお送り致しますので、メールにてご連絡下さい。

連絡宛先news@earth-app.co.jp

アスベスト対策環境展HP <http://www.asbex.jp>

☆アスベスト分析ラボのご案内☆

(株)アースアプレイザルは、不動産分野で環境コンサルティングサービスの提供を総合的に行なっております。現在、環境デューデリジェンス(*)のニーズはますます多岐にわたり、需要も増加の一途を辿っております。(株)アースアプレイザルでは、土壌汚染リスクとアスベスト・リスクに関するリスク評価から調査・対策までの一貫したコンサルティングサービスを提供し、様々なお客様の要望に対して的確に、かつスピーディーに対応することで評価を頂いております。特に近年関心を集めているアスベスト・リスクでは、米国カリフォルニア州のForensic Analytical社と共同でアスベスト分析機関のEFAラボラトリーズを本年3月に設立し、EPA(米国環境庁)認定の分析手法を用いて、高い精度と素早い対応のサービスを提供しております。平成18年9月から、改正された省令(平成18年厚生労働省令第147号および平成18年政令第257号)により、アスベスト規制値が1%から0.1%へと変更されましたが、当ラボでは、充分に対応できる分析技術を誇っております。アメリカでは過去30年にわたりアスベスト分析法についてさまざまな検討がなされ改良が続けられており、特にForensic Analytical社のあるカリフォルニア州では早くから0.1%含有分析が行われております。当ラボでは米国公定法(EPA600/R93/116)に基づき、偏光顕微鏡によるスクリーニング分析を行った後、含有量3%以下と判断された検体を重量濃縮法ーTEM(電子顕微鏡)分析をメインに微量濃度分析を行い、規制値0.1%対応の分析を提供しております。含有量の低いものについては詳細に分析を行う一方、含有量の高いものは迅速に分析を行い、緊急性を要するものから早く結果を出すことにより、様々なお客様のご要望にお答えしております。

* due diligence : 不動産債権の適正価格を算出すること

アースアプレイザル EFAラボラトリーズ

☆ Environmental column ☆

二つの記録を潰した“駒大苫小牧”

ー 一寸(大分かな?) マニアックな話 ー

今年の甲子園は何といても「青いタオルのハンカチ貴公子・早実の斉藤君」でした。テレビに映るハンカチで汗を拭う斉藤君を見て、“カワイイ!!”なんて熱を上げた女性も少なくなかったようです。でも、早実の優勝によって73年ぶりの3連覇という記録が達成されなかったことは、あまり話題になりませんでした。駒大苫小牧高校があと一歩でその記録に手が届くところまで来ていたのです。その駒大苫小牧は3年前に高校野球(戦前の中等野球も含めて)史上初めてという記録達成を打ち砕いたのです。

2004年8月22日、第86回高校野球選手権決勝戦、愛媛県代表「済美高校」対、南北海道

代表「駒大苫小牧」が行われました。済美高校は野球どころの愛媛県代表で、その年の春の選抜大会では初出場で初優勝をしており、第86回大会も投打が噛み合って決勝まで進んできました。ここで優勝を勝ち取れば同じ年に春の選抜大会と夏の選手権大会に初出場で初優勝という、未だかつてない記録が達成できるところでした。おそらく今後も同年の初出場春夏連覇の可能性は無いとは言いませんが、極めて低いものでしょう。春夏連覇は長い甲子園の歴史の中で作新学院(1962年)中京商業(1966年)、箕島高校(1979年)、PL学園(1987年)、そして横浜高校(1998年)の5校しかありません。それを両方とも初出場達成しようというのです。なかなか達成できそうも無い記録が達成されるというのは、まさに歴史的瞬間です。私もその瞬間を見届けたいという気持ちでテレビ観戦をしていました。ところが、誰もが予想しなかった記録が達成されたのです。北海道の代表が野球で優勝したのです。しかも、北海道出身の選手だけのチームが野球の全国大会で頂点に立ったのです。そのことも高校野球史上にとっては歴史的な出来事でした。しかし、済美高校の同年初出場春夏連覇が達成できなかったことの方が、私には深く印象に残っています。

2006年8月21日、前日の延長15回引分け再試合の決勝戦が行われました。1915年第1回大会から出場している「早稲田実業」と、1933年第19回大会「中京商業」(現中京大中京高校)以来の73年ぶり3連覇に、あと1歩となった「駒大苫小牧」の対戦です。今年の結果はご存知のように4:3で早実の初優勝でした。しかし73年前の3連覇は5年制の中等学校野球選手権の時代です。現在の3年制の高校野球での3連覇は、これも極めて低い可能性ではないかと思えます。

このように「駒大苫小牧」は3年の間に歴史的な出来事を2回も潰しています。しかし、この間の駒大苫小牧の記録は高校野球史に燦然と輝くものです。特に3連覇を狙うということは前年の2005年に2連覇を達成しているということです。その2連覇でさえも1947年「小倉中学」1948年「小倉高校」以来の57年ぶりだったのです。高校野球選手権となってからは当然初めてのことです。1年と3年で優勝した清原・桑田のいた時代のPL学園でも2連覇はありません。この3年間の駒大苫小牧の活躍は、高校野球の歴史を更に素晴らしいものにしてくれました。そして、素晴らしい高校野球を今年も満喫しました。

アースアプレイザル 取締役 西田 道夫 技術士(応用理学・建設)

今回のEAnetworkいかがでしたでしょうか。このニュースレターへの感想や土壌汚染に関するご質問など、お気軽にFax またはnews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

このEAnetworkは、過去に弊社セミナーにご参加いただいた方及び弊社へ調査のご依頼を頂いたお客様にお送りしております。以後メーリングリストでの配信希望の方は、下記にチェックの上FAXにてご返送、またはnews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

弊社の個人情報保護に関する基本方針は、弊社ホームページに掲載しております(<http://www.earth-app.co.jp/privacypolicy.htm>)。個人利用に関して同意いただけない場合、また、今後配信を希望されない方は、お手数ですが同様にご連絡ください。基本方針に基づき、責任を持って登録を削除させていただきます。

株式会社アースアプレイザル
編集者：藤井史枝
伊藤祥子

TEL: 03-5298-2151

FAX 03-3252-5411

会社名

お客様名

次回の配信から、メーリングリストでの配信希望 e-mail:

次回の配信を希望しない

コメント

アースアプレイザルグループおよび業務提携先
札幌アースアプレイザル(北海道)、アースアプレイザルN・E(神奈川)、中央開発・基礎地盤コンサルタンツ・ジオテック・りんかい日産建設・協和地下開発(関東)、アイエーシー(神奈川)、細野建設(長野)、トーエネック・フルエンゲル・東邦地水(中部)、建設基礎調査設計事務所(静岡)、阪神測建(関西)、三協エンジニア(奈良)、エイトコンサルタント(岡山)、復建調査設計(広島)、藤井基礎設計事務所(島根)、日本地研・アースアプレイザル九州(福岡)、リサイクルワン、グリーンフィールドEA(大阪)